

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣西高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月6日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣西高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	木村 幸雄	大垣市静里地区連合自治会長 (欠席)
副会長	杉原 茂男	中部学院大学特命学長補佐兼入試広報部長兼特任教授 (欠席)
委員	安藤 成実	あおいこども園 主幹保育教諭
	高井 良博	日本耐酸壘工業株式会社 部長
	伊藤 和久	伊藤配管工業株式会社 代表取締役社長 (欠席)
	清水 理加	地域住民代表
	渡邊 一正	本校育友会会長
学校側	林 辰郎	校長
	杉山 醇	教頭
	高橋 正人	事務長
	小谷 和也	教務部長
	小田切知加子	進路指導部長
	武田 峰治	生徒指導部長 (欠席)
	水上 尊雄	特別活動部長
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) スクール・ミッション策定について
修正案が承認された。

(2) 令和6年度自己評価、来年度に向けての改善方策等について

意見1：交通事故が増加しているが、要因は何か。

⇒ 事故としては、自転車どうしの接触が多い。増加の要因までは分かっていない。今後、分析して対策を講じていく。

意見2：ヘルメットの着用について、まだ非着用の生徒が多い。他校の生徒が着用していないと着用しにくい部分もあるので、地域の学校で連携して着用率を上げてほしい。

⇒ 今後も必要性を訴えていく。

意見3：アンケート結果では、地域に関する項目の値が低い。スクール・ミッションでは地域社会に重点をおいているので、進路指導部の「地元自治体や企業との連携」、特別活動部の「地域での活動」「豊かなふれあい体験」等を継続して進めてほしい。

⇒ 今後、さらに充実させていく。

意見4：校則については、変化しているのか。

⇒ 細かい点では修正を加えている。具体的な運用については、生徒の自主性を重んじている部分がある。ただし、緩んでいるという意識になることや、そのような意識が授業等に波及しないように取組んでいる。

意見5：行事等で生徒が活動できる場が増えていることがよく分かった。また、部活動の加入率も高く活発に活動している。学習だけでなく、生徒会活動や部活動など、いろいろなところで活躍できる場があるところが本校の良いところである。

意見6：保護者が参加する進路関係の行事が多く設定されており、また参加者も多い。保護者の頃の大学入試と今の大学入試では制度も大きく変わっているため、今後も継続して実施してほしい。

意見7：それぞれの部活動が熱心に取組んでいるので、お互いに試合など応援に行けるようになるとうい。

⇒ 今後、検討していく。

意見8：生徒自身がスローガンを考えているのは、自分たちで自分たちの学校をつくっていくという思いが醸成される。また、様々な取組みの中で、生徒の帰属意識、仲間意識を高める工夫がなされている。大人になってから「よかった」と振り返ることができる高校3年間をつくることができている。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、スクール・ミッションの修正案について承認を得ることができた。また、今年度の学校行事を中心とした活動について、有意義な意見交換を行うことができた。令和6年度自己評価においては、成果や課題を踏まえ来年度に向けての改善方策に助言を得ることができた。今後も引き続き地域との連携を深めながら、学校運営に生かしていくことを確認した。